



# 映画『黒牢城』に登場する滋賀県内ロケ地 各ロケ地に隠されたミステリーポイントにもご注目！

## 彦根城 (彦根市)



彦根城は、国宝に指定された現存天守を持つ名城で、江戸初期の天守建築を現在まで残す貴重な城郭です。作中では、荒木村重（本木雅弘）が荒木久左衛門（青木崇高）から首桶を発見した報告を受けるシーンが撮影されました。本作では、彦根城を始めとした関西各地の城がロケ地として登場しています。

## 彦根城のココがミステリー!?



**謎の隠し部屋!?**  
彦根城には、敵の侵入を防ぐためのさまざまな仕掛けや、鉄砲や矢で攻撃するための小さな狭間など、戦に備えた工夫が随所に見られます。中でも天守の「破風の間」は、まるで謎の隠し部屋のような空間。実はここ、城内でも特に攻撃力の高い鉄砲狭間となっています。現在は一般公開されているので、訪れた際にはぜひチェックしてみてください。

**彦根城**  
滋賀県彦根市金亀町1-1 ☎0749-22-2742 (彦根城運営管理センター)  
JR「彦根駅」から徒歩10分 開場時間：8:30~17:00  
入場料：大人1,000円、小・中学生300円

## 日吉大社 (大津市)



日吉大社は、比叡山の麓に鎮座し、約2100年前に創祀された全国3800余の分霊社の総本宮です。作中では、栗山善助（前田旺志郎）が捕らえられ、荒木村重に怒りをぶつけるシーン等が撮影されました。昼、夜それぞれ撮影が行われており、雰囲気の違いも注目ポイントです。

## 日吉大社のココがミステリー!?



**楼門に猿が隠れている!?**  
日吉大社のシンボルといえば「神猿（まさる）」。実は、楼門の四隅にはこの神猿の彫刻がひっそりと施されています。「魔が去る」「何事にも勝る」にも通ずることから、厄除け・必勝の守護獣として古くから親しまれてきた存在です。それぞれ違ったポーズの神猿さんがいますので、訪れた際はぜひ注目してみてください！

**日吉大社**  
滋賀県大津市坂本5-1-1 ☎077-578-0009  
京阪石山坂本線「坂本比叡山口駅」から徒歩10分 拝観時間：9:00~16:00  
拝観料：大人500円、中高生300円 ※小学生以下無料

## 大戸川ダム 建設予定地 (大津市)



大戸川ダムは、大津市南部を流れ瀬田川に合流する大戸川に建設する治水専用の流水型ダムです。作中では、荒木軍と織田軍の合戦シーンが撮影されました。200名近くが参加した大規模なナイター撮影が行われました。普段は立ち入り禁止ですが、2023年から開催されている「大戸川ダムフェス」では、当該ロケ地に立ち入ることができます。

## 大戸川ダム 建設予定地のココがミステリー!?



**謎の横穴!?**  
ダムを建設する場所には人が入れる程度の横穴が掘られています。一体何のために!?!通常は立ち入り禁止ですが、見学の希望がありましたら大戸川ダム工事事務所までお問合せください。ダム建設前の今しか中に入ることができません。



**国土交通省近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所**  
滋賀県大津市大萱1丁目19-32 ☎077-545-5675 ✉kk-r-otayori-daido@gxb.mlit.go.jp



SHIGA LOCATION OFFICE  
**滋賀ロケーションオフィス**

住所：滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県観光文化スポーツ部観光政策局内  
TEL:077-528-3745 FAX:077-528-4877

滋賀ロケーションオフィスは、滋賀県内での映像制作を誘致・支援するため、滋賀県および県内の市町が設置した組織です。映画やドラマなどの作品をととして滋賀県の魅力をPRし、県民の方々と共に地域振興を図り、湖国滋賀の観光の振興や活性化を目指しています。

※本紙の無断転載・無断使用・転載を禁じます。発行：滋賀ロケーションオフィス

発行年月 2026年6月

